

# WILL受注出荷 iP画像ビューアVer3 不具合解決手順書

- 第2版 -

作成:2021/04/15  
更新:2021/04/21 R2

株式会社ケーブルソフトウェア

# 1. 概要

iP画像ビューアV3の動作に問題がある時に、不具合原因の特定をするための手順となります。

CASE1: iP画像アプリの設定(IPアドレスとデバイス名を登録)を行ったが、一覧表示しないなど、

**サーバからの応答がない場合**

→DBサーバ、IISの状態を確認します。

→iP画像ビューアアプリの設定を確認します。

2-1. IIS 動作の確認

2-2. iP画像ビューアアプリの設定を確認

CASE2: バーコード読取りができない、**カメラが起動しない場合**

→iP画像ビューアアプリの設定を確認します。

2-2. iP画像ビューアアプリの設定を確認

CASE3: 一覧は表示はするが、**全ての画像が表示しない場合**

→DBサーバ、IISの仮想ディレクトリの状態を確認します。

2-3. IIS 仮想ディレクトリの確認

CASE4: 一覧は表示はするが、**特定の画像が表示しない場合**

→DBサーバ、IISの状態(MIME)を確認します。

2-4. IIS MIMEの確認

CASE5: 画像は表示はするが、**写真・動画のアップロードができない場合**

→アップロード先のフォルダ環境を確認します。

2-5. 画像格納フォルダの確認

CASE6: **検査情報登録、レイヤー表示ができない場合**

→IIS サーバアプリ(GZViewer)の動作を確認します。

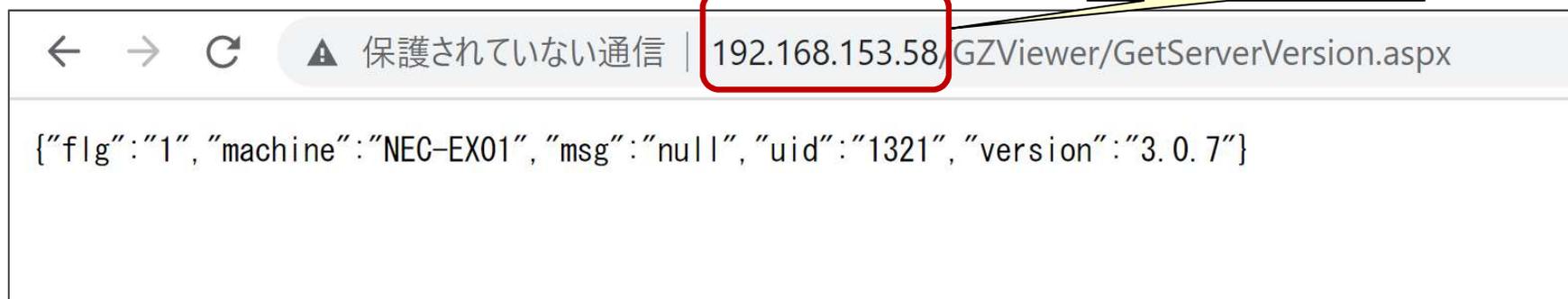
2-6. GZViewerアプリ動作の確認

## 2-1. IIS動作の確認

DBサーバー、IISの状態を確認します。

- ① ケーブルソフトウェアクライアントPC等のブラウザで  
(例:http://192.168.153.58/GZViewer/GetServerVersion.aspx)URLを実行  
※例)上記ケーブル開発サーバIPアドレスを指定

DBサーバIPアドレス



- ② 上記のような情報が返却(マシン名・サーバーバージョンなど)かを確認
- ③ 応答が無い、返信が無い場合は、DBサーバのIIS設定を確認する必要があります。  
→[iP画像ビューアVer3.3環境構築手順書](#)を参照して、IISの設定を確認してください。

## 2-2. iP画像ビューアアプリの設定を確認

iP画像ビューアアプリがインストールされているデバイスの設定を確認します。

① 設定をタップします。



② iP画像ビューアアプリをタップします。



③ ローカルネットワーク、マイク、カメラがONになっている事を確認します。



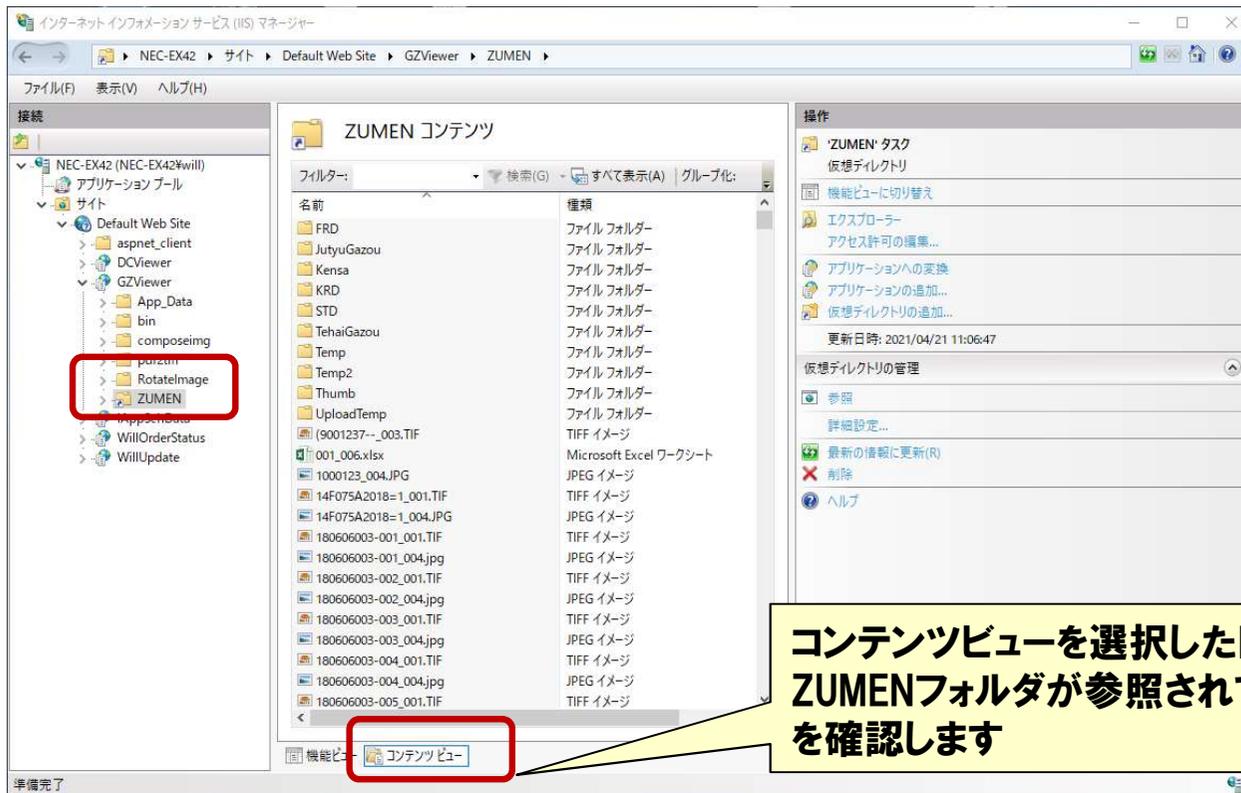
④ OFFに設定されていた場合は、ONに設定します。

※ネットワークに接続できない場合はローカルネットワークがOFFとなっている場合があります

## 2-3. IIS 仮想ディレクトリの確認

IISマネージャーで仮想ディレクトリの状態を確認します。

- ① IISマネージャーツリー表示で、GZViewer→ZUMENを選択、画面下部のタブよりコンテンツビューを選択
- ② 指定したZUMENフォルダが参照されている事を確認します



### ③正常に表示されない時は、仮想ディレクトリの管理→詳細設定で設定を確認します。

The screenshot shows the IIS Manager interface. The left pane shows the server tree with 'ZUMEN' selected under 'GZViewer'. The main pane shows the 'ZUMEN ホーム' virtual directory. A context menu is open over 'ZUMEN', with '仮想ディレクトリの管理' and '詳細設定...' highlighted. The '詳細設定' dialog box is open, showing the '仮想パス' (Virtual Path) tab. The table below shows the settings for the virtual path:

仮想パス	物理パス
/ZUMEN	C:\ZUMEN
物理パス資格情報	
物理パス資格情報のログオンの種類	ClearText

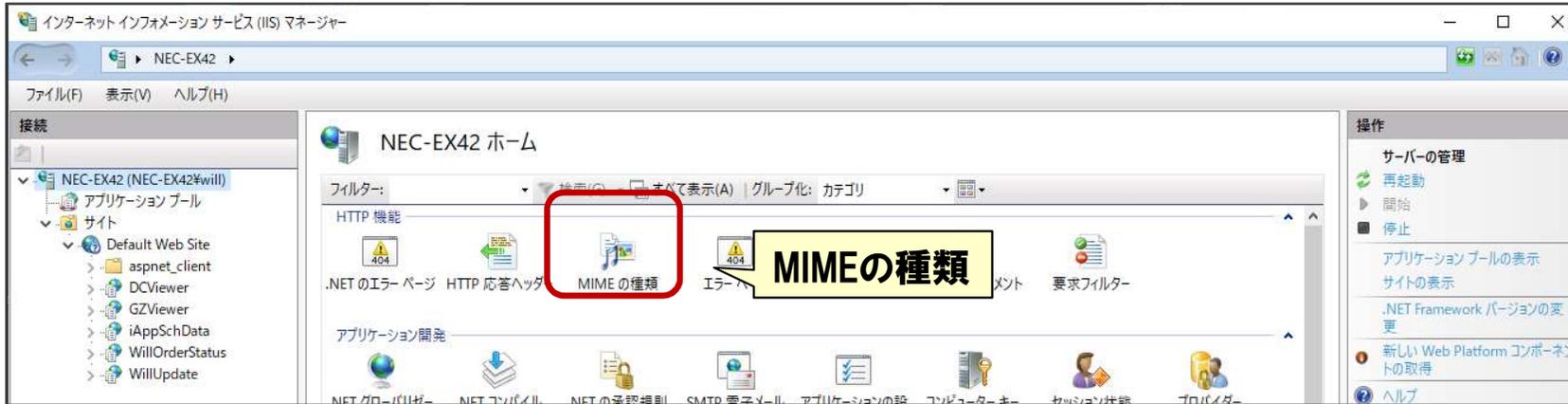
A yellow callout box contains the following text:

- 物理パスに画像データモジュールの図面データフォルダ (通常は“C:\ZUMEN”)をパス付で指定します。
- ZUMENフォルダが他のPCの共有フォルダの場合は (例: \\FileServer\share\ZUMEN) を指定します。

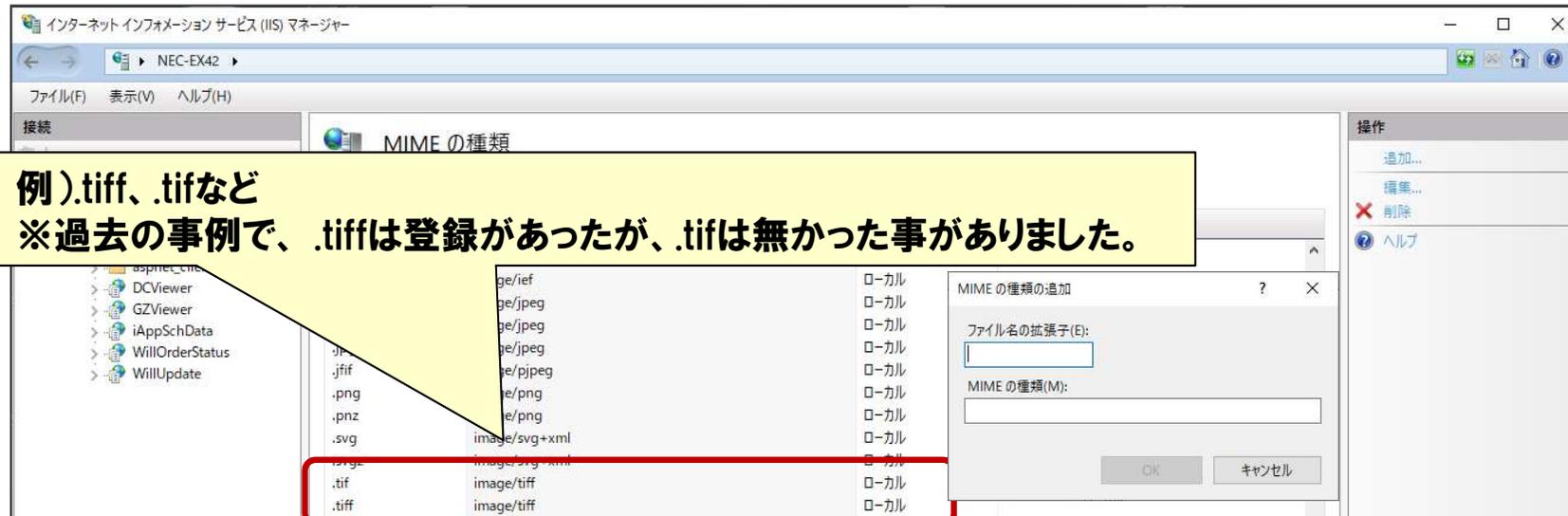
## 2-4. IIS MIMEの確認

IISマネージャーでMIMEに該当するデータの拡張子が登録されているか、確認します。

① IISマネージャーの機能ビューより、でMIMEの種類を選択します。



② MIMEの種類に該当するデータの拡張子が登録されているか？確認します。



### ③ 該当するデータの拡張子が登録されていない場合は、拡張子を追加します。

The screenshot shows the IIS Manager interface. The main window displays the 'MIMEの種類' (MIME Types) section. A dialog box titled 'MIMEの種類を追加' (Add MIME Type) is open, prompting for the file extension and the MIME type. A yellow callout box provides instructions: '.tifを登録する場合、ファイル名の拡張子: .tif、MIMEの種類: image/tiffを入力し、OKを押します' (When registering .tif, enter file extension: .tif, MIME type: image/tiff, and press OK). Another yellow callout points to the '追加...' (Add...) button in the '操作' (Actions) pane, labeled '追加選択' (Add Selection).

**.tifを登録する場合  
ファイル名の拡張子: .tif  
MIMEの種類: image/tiff  
を入力し、OKを押します**

**追加選択**

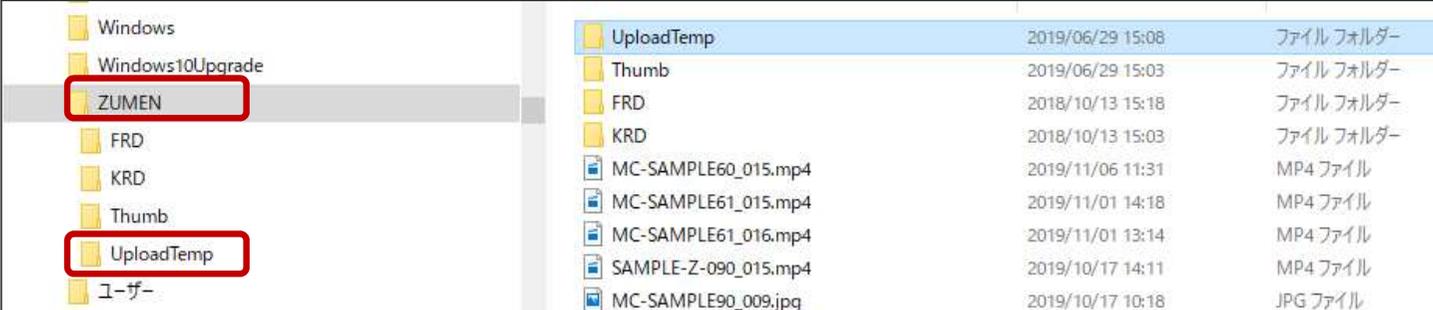
拡張子	MIMEの種類
.ief	image/ief
.jpe	image/jpeg
.jpeg	image/jpeg
.jpg	image/jpeg
.jfif	image/pjpeg
.png	image/png
.pnz	image/png
.svg	image/svg+xml
.svgz	image/svg+xml
.tif	image/tiff
.tiff	image/tiff

## 2-5. 画像格納フォルダの確認

画像データモジュールが参照しているZUMENフォルダの環境を確認します。

- ① ZUMENフォルダにiP画像ビューアからの画像アップロード先フォルダがあるか確認します。

※通常は“C:¥ZUMEN¥UploadTemp”



Windows		
Windows10Upgrade		
ZUMEN		
FRD		
KRD		
Thumb		
UploadTemp		
ユーザー		

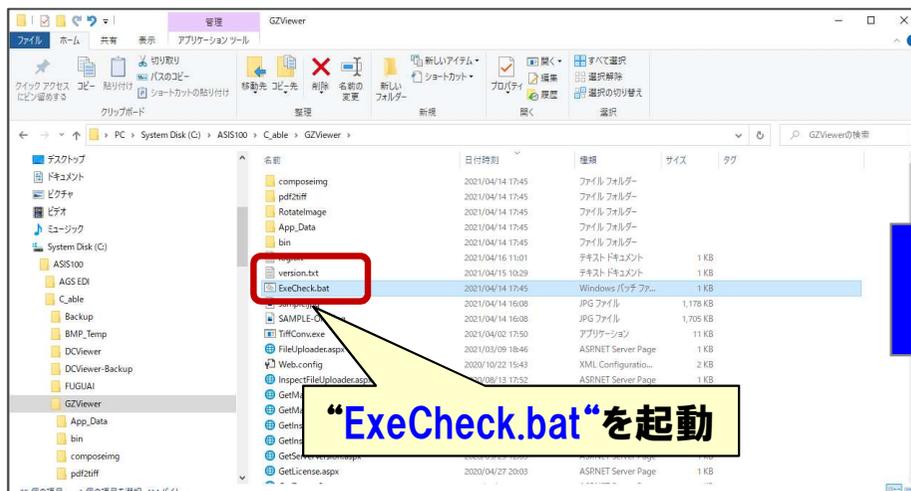
名前	最終更新日時	種類
UploadTemp	2019/06/29 15:08	ファイル フォルダー
Thumb	2019/06/29 15:03	ファイル フォルダー
FRD	2018/10/13 15:18	ファイル フォルダー
KRD	2018/10/13 15:03	ファイル フォルダー
MC-SAMPLE60_015.mp4	2019/11/06 11:31	MP4 ファイル
MC-SAMPLE61_015.mp4	2019/11/01 14:18	MP4 ファイル
MC-SAMPLE61_016.mp4	2019/11/01 13:14	MP4 ファイル
SAMPLE-Z-090_015.mp4	2019/10/17 14:11	MP4 ファイル
MC-SAMPLE90_009.jpg	2019/10/17 10:18	JPG ファイル

- ② UploadTempフォルダが無い場合は、“ZUMEN”フォルダの配下に”UploadTemp”フォルダを作成します。

## 2-6. GZViewerアプリ動作の確認

iP画像ビューアが使用している画像変換モジュール(GZViewerフォルダ内)の動作を確認します。

- ① GZViewerフォルダ配下にある各種画像変換モジュールが正常動作しているかを確認します。  
GZViewerフォルダの配下の“ExeCheck.bat”を起動します。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>copy sample-org.jpg sample.jpg /Y
1 個のファイルをコピーしました。
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>RotateImage\RotateImage.exe --version 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>RotateImage\RotateImage.exe --sp SAMPLE.jpg 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>TiffConv.exe SAMPLE.tif SAMPLE.TiffConvOK.tif 1>>log.txt
Output file SAMPLE.TiffConvOK.tif saved.
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>pdf2tiff\MakingThumbnailFromPdf.NetFramework.exe -a pdf2tiff\SAMPLE.pdf
-h 3300 -d 300 -p pdf2tiffOK.tif 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>composeimg\compositingImage.exe -a composeimg\SAMPLE.tif -o SAMPLE.comp
oseOK.png -p 1 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

コマンドが表示され結果が表示されます。  
例)これはエラーが無い場合

- ② 各種画像処理が成功すると、GZViewerフォルダ配下に下記ファイルが生成されます。

- SAMPLE.composeOK.png
- SAMPLE.TiffConvOK.tif
- pdf2tiff\SAMPLE.pdf2tiffOK.tif

※ ExeCheck.batはサーバーVer3.0.8(iP画像ビューアVer3.3標準環境)より実装されています。

③ 各種画像処理が失敗した場合、サーバ内の.NET Frameworkが古い・インストールされていない事が考えられます。下記の手順で確認します。

## <Windows10 .NETFrameworkバージョン確認方法>

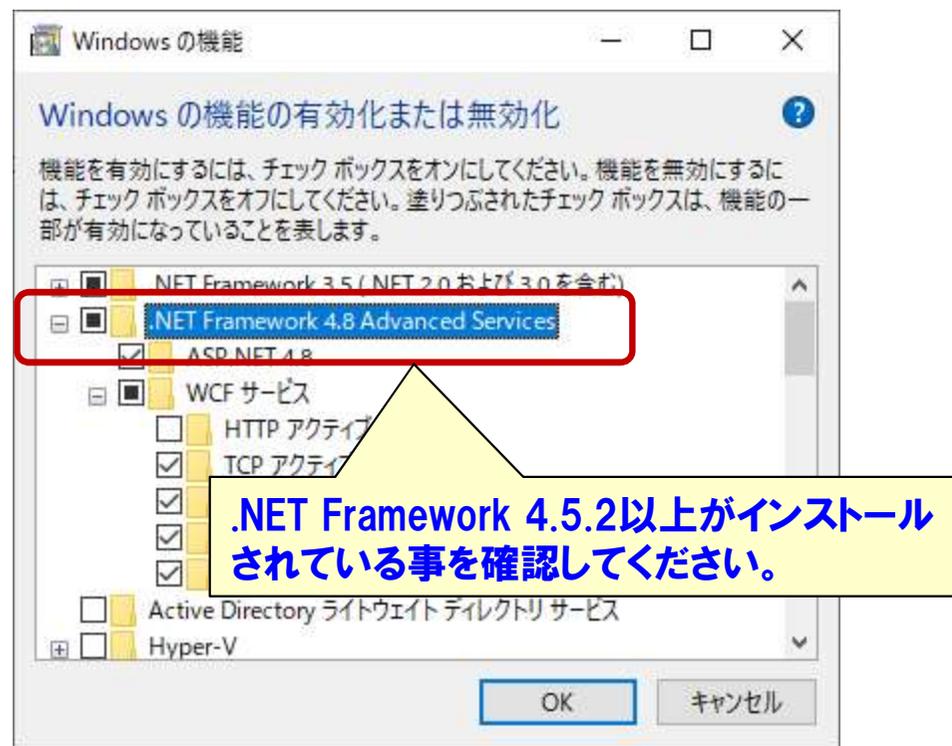
1) コントロールパネルから「プログラムと機能」を選択



2) Windowsの機能の有効化または無効化を選択



3) Windowsの機能の有効化または無効化が表示されます。



4) 機能が選択されていなかったら選択し、機能を追加してください。

## <Windows Server2016 .NETFrameworkバージョン確認方法>

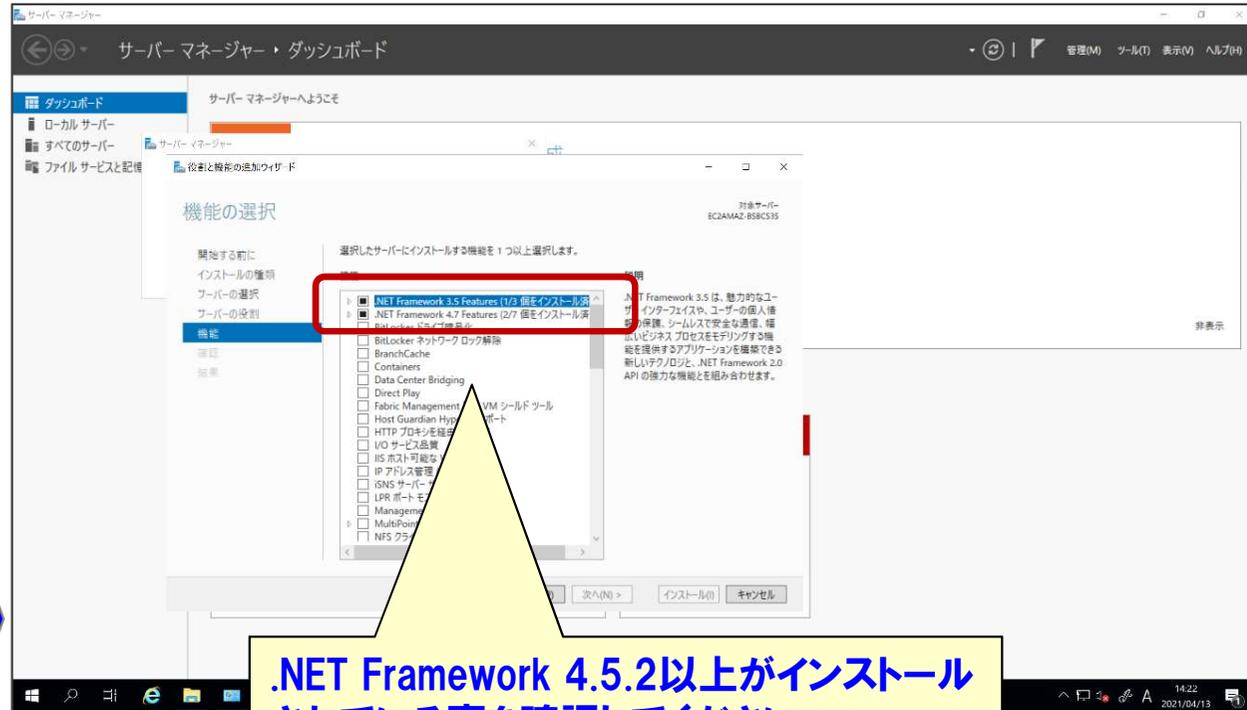
### 1) サーバマネージャーを起動します



### 2) 役割と機能の追加を選択します



### 3) 役割と機能の追加ウィザードで機能の選択まで進めます。



### 4) 機能が選択されていなかったら選択し、機能を追加してください。